

苫小牧工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	応用英語Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	APAE1010		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	環境システム工学専攻		対象学年	専1	
開設期	後期		週時間数	後期:2	
教科書/教材	Science Finder 科学の不思議 Jonathan Lynch・Kotaro Shitori著 (成美堂)				
担当教員	東 俊文				
到達目標					
1. 標準的な英単語や英文法を習得した上で、「読む」「聞く」という作業を中心に、一般的・専門的な分野の文章を解釈し、その内容を日本語で説明できる。 2. 英文を通して、国内事情や海外事情などを深く理解できる。 3. 英語で簡単なコミュニケーションをとることができる。 4. 継続的な学習によってTOEICスコア400点の取得が現実的となる英語力を身につけ、TOEIC-IP等の受験によって自身の英語力を正確に把握できる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1 語彙力・文法力	達成目標を超える語彙力・文法力が身につけている。	達成目標に必要な語彙力・文法力が身につけている。	達成目標に必要な語彙力・文法力が身につけていない。		
評価項目2 内容理解力	英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。	英文を読んで概ね理解し、その内容を日本語または英語で概ね説明できる。	英文を読んで理解できず、その内容を日本語または英語で説明できない。		
評価項目3 コミュニケーション力	英語でコミュニケーションをとることができる。	英語で簡単なコミュニケーションをとることができる。	英語でコミュニケーションをとることができない。		
評価項目4 英語力の把握	継続的な学習によって、一般社会に通用するTOEICスコア取得が現実的となる英語力を身につけ、TOEIC-IP等の受験によって自身の英語力を正確に把握できる。	継続的な学習によって、TOEICスコア400点の取得が現実的となる英語力を身につけ、TOEIC-IP等の受験によって自身の英語力を正確に把握できる。	継続的な学習をせず、TOEICスコア400点の取得が現実的となる英語力を身につけず、TOEIC-IP等の受験によって自身の英語力を正確に把握しない。		
学科の到達目標項目との関係					
J A B E E基準1 学習・教育到達目標 (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養 J A B E E基準1 学習・教育到達目標 (e) 種々の科学、技術および情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力 J A B E E基準1 学習・教育到達目標 (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力 J A B E E基準1 学習・教育到達目標 (g) 自主的、継続的に学習できる能力 学習目標Ⅰ 人間性 学習目標Ⅱ 創造性 学習目標Ⅲ 国際性 専攻科の点検項目 A-3 地球環境や社会における問題点を整理し、社会科学および人文科学の知識、概念、方法論に基づいて多様な観点から考えることができる 専攻科の点検項目 C-4 英語で書かれた論文などを正しく読解し、その内容を日本語で説明できる 専攻科の点検項目 C-5 英語で簡単なコミュニケーションをとることができる 専攻科の点検項目 E-2 工学知識、技術の修得を通して、自主的・継続的に学習することができる					
教育方法等					
概要	科学的な話題を扱っている文章が掲載されている教科書を使い、今までに養ってきた読解力や技法を駆使しながら正確に英文を読解していく。それと同時に、科学的な話題に親しみをもち、興味を持つことによって知識も深めていく。そのため、学習者に読解した内容について説明を求め、理解度を確認する。そして、内容への理解度を深めるため、本文の後に掲載されている演習問題を解いていく。				
授業の進め方・方法	予習：授業の前に教科書本文を自分の力で読んでくる。わからない単語は辞書で調べておいて構わない。その後、"Comprehension Questions"と"True or False"の問題を解いてくる。 授業：本文の内容や文章の意味を正確に把握しているかどうかを、訳読などの手法で確認する。予習が前提であるため、発表者をアトラダムに指名していくこともある。予習して来た内容の確認が終わった後、"Read and then Listen"と"Writing"の問題を解いていく。				
注意点	1) 英語力向上のために、継続的に自学自習を行わなければならない。 2) 教科書と辞書は必ず持参し、積極的に授業に参加しなければならない。 3) 特別研究などの英文アブストラクト(要旨)を書けるように、文および文章構造を意識して読解に取り組むこと。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	授業の進め方についての説明・Unit 1 Digital Amnesia	授業の進め方を理解できる・Unit 1の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。	
		2週	Unit 1 Digital Amnesia Unit 2 Sleep Paralysis	Unit 1・2の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。	
		3週	Unit 2 Sleep Paralysis Unit 3 Why Are Some People Better at Learning Languages?	Unit 2・3の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。	
		4週	Unit 3 Why Are Some People Better at Learning Languages? Unit 4 The McCollough Effect	Unit 3・4の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。	
		5週	小テスト・Unit 4 The McCollough Effect	小テストの範囲の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。 Unit 4の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。	
		6週	Unit 5 The Healthiest Drink?	Unit 5の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。	
		7週	Unit 8 A New Antibiotic Found in the Soil	Unit 8の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。	
		8週	Unit 10 Lazy Ants	Unit 10の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。	

4thQ	9週	後期中間試験	後期中間試験の範囲の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。
	10週	Unit 12 Animals and Earthquakes	Unit 12 の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。
	11週	Unit 13 LiquiGlide	Unit 13 の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。
	12週	Unit 14 Unbreakable Glass	Unit 14 の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。
	13週	Unit 15 Robots Are Winning	Unit 15 の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。
	14週	Unit 16 Li-Fi	Unit 16 の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。
	15週	Unit 18 The Ninth Planet	Unit 18 の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。
	16週	後期定期試験	後期定期試験の範囲の英文を読んで理解し、その内容を日本語または英語で説明できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	4	
			英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	4	
			英語の発音記号を見て、発音できる。	4	
			リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	4	
			語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	4	
			文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	4	
			文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	4	
			中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	4	
			自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	4	
			中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	4	
			高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	4	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	4
		日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。		4	
		説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。		4	
		平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。		4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
		日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。		4	
		母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。		4	
		毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。		4	
		自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。		4	
		毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。		4	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
		自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。		4	

評価割合

	試験	レポート・小テスト等	合計
総合評価割合	60	40	100
基礎的能力	60	40	100
専門的能力	0	0	0